

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【716】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目15 有害鳥獣対策事業				
予算区分	款	06	農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費		
	目	03	農林水産業振興費	連絡先	0594-24-1203
	細目	002	農業振興費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
農家 有害鳥獣 (農作物被害)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○野生鳥獣による農作物の被害防除及び追い払い等の対応を行う。 ・市民から農作物被害の連絡を受けた際に、猟友会等に有害鳥獣の捕獲を依頼し、追い払い等の対応を行う。	すでに猟友会と連携して事業を実施
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
有害鳥獣対策事業を行うことにより、水稲・野菜・果樹等の鳥獣害を防ぎ、農家の生活安定を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	農家数	軒	1,576	1,576	1,576	1,576	
	農作物被害件数	件	12	29	22	10	
活動指標	有害鳥獣捕獲頭数	頭	76	100	308	308	
	獣害防止柵設置距離 (市単分)	km	2,239	0.25	-	-	
成果指標	有害鳥獣被害への対応率	%	目標値 100.0 実績値 100.0	100.0 100	100 100	100	
	獣害防止柵の設置率	%	目標値 100.0 実績値 95.7	100.0 100	100 -	-	
投入コスト	事業費計			8,555	9,283	12,651	18,338
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他		3	840	1,386	2,400
	一般財源	8,552	8,443	11,265	15,938		
	所要人員 (正職員)	人工	1.23	1.39	1.63		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.29	0.45	0.60			
人件費合計	千円	9,560	11,418	13,183			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

有害鳥獣による農作物の被害減少のため、継続して事業を実施する。獣害被害の最終的な対応方法は個体数調整となるが、市の職員は狩猟免許を所持しておらず捕獲・止め刺しの対応が出来ない。結果、イノシシ・シカについては猟友会と委託契約を結んで対応しているが、サルの対応については断られており、抜本的な対策がとれていない。今後、職員の狩猟免許取得、外部団体に委託するなどの取組みを地元と協議し、こういった対応が必要がある。